

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第42報 ～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成15年1月20日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Cyclotella* sp.  
(ヒメマルケイソウ)

珪藻綱

細胞は正面から見ると円形で、中心付近は平らか、不規則な点紋があり、周辺部分は放射線状の点紋もしくは条線がある。図はキクロテラの一例。

動物プランクトン第1優占種



*Bursellopsis* sp.  
(ブルセロプシス)

繊毛虫類

細胞は体長250 μm、体幅200 μmの楕円形。細胞前部は斜めになって、凹んでいる。凹みの底に口がある。*Bursellopsis* sp.と考えられる。

コメント

ウログレナは減少した。キクロテラとホシガタケイソウは引き続き多かった。キクロテラの中は、処理を行って検鏡したところ、いくつかの種が見られたが、ステファノディスクス オストラッピが多く見られた。動物プランクトンの優占種は繊毛虫の一種で、この種は、細胞前部に口を持っている。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	その他の繊毛虫類	80

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	40

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成15年1月20日

第42報

## (2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	360		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	10		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	490		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	14		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	130		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	10		
(珪) <i>Gomphonema</i> sp.	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	20		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	120		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	370	30.5	27.5
(珪) 珪藻綱	694	57.2	56.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.8	0.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	140	11.5	15.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	0	0.0	0.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1214	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	3.48E+05
種 類 数	13		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)  
ただし \* 印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。